

科目名称	家族論	学年学期	単位数	時間数
		2 学年前期	1	30
担当教員	野本 ひさ	授業に関わる 実務経験	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (看護師) <input type="checkbox"/> 無	

【1】 授業概要

社会的変遷および価値観の多様化に伴い、家族の概念、形態・機能、家族の役割について理解を深めることが求められている。家族の健康を支えるための家族看護学の概念・目的を理解し家族看護実践のための基礎を学ぶ。

【2】 学習目標

1. 人が生活するうえでの家族の意味を理解し、家族の概念について理解する。
2. 家族の健康について理解し、家族の健康を護る為の方法を考える。
3. 家族発達理論、家族システム理論、家族ストレス対処理論について理解できる。
4. 家族看護に必要な援助姿勢について理解できる。
5. 事例を通して家族看護の実際が理解できる。

【3】 第2看護学科ディプロマポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間を統合された存在として多角的に捉えることができる。
- 2. 人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重した判断および行動をすることができる。
- 3. 人々の多様な価値観を認識して、専門職業人としての共感的態度および倫理に基づいた看護実践をすることができる。
- 4. 看護の対象となる人々の健康状態を判断し、科学的根拠に基づいた看護を実践することができる。
- 5. 保健・医療・福祉チームの一員として多職種連携・協働を図り調整的役割を果たすことができる。
- 6. 松山市および愛媛県周辺の地域医療への理解を深め、地域の人々の生活を尊重・支援することができる。
- 7. 自己の資質向上のため、看護に対する探究心・向上心を持ち、主体的に学び続けることができる。

【4】 授業計画

	内容	主な授業形態
1	家族とは何か	講義・演習
2	現代家族のすがた	講義・演習
3	家族の構造と機能	講義・演習
4	近代家族とイエ制度	講義・演習
5	家族認知	講義・演習
6	世帯と男女共同参画社会	講義・演習
7	夫になること、妻になること	講義・演習
8	夫であること、妻であること	講義・演習
9	子どもであること	講義・演習
10	家族の健康	講義・演習
11	家族の危機と対処	講義・演習
12	家族支援論	講義・演習
13	家族看護過程	講義・演習
14	家族看護実践例	講義・演習
15	まとめ試験[90 分間]	筆記試験

【5】 評価方法

1. 期末試験
2. 授業中の提出課題

【6】 教科書

上別府圭子：系統看護学講座 別巻 家族看護学 第2版 医学書院 2026（電子版）

【7】 参考書

【8】 受講生へのメッセージ

授業中の演習は Teams アプリを使用して課題提出などを行うため、Teams の使用にいて習熟しておいて下さい。